

子育て支援事業「ハート」
放課後児童健全育成事業
について

問

郡中児童クラブは、現在2
力所に分散して運営している。
運営は年ごとに重要性が高
まっており、人数も増加して、
待機児童もいる状況である。
長期休暇中の安全・安心な
生活の観点からも、ぜひ郡中
児童クラブの施設の建設は急
務であるが、お考えは。

答 中村市長

郡中児童クラブは、A・B
両クラブともに児童数に対し
施設内の面積が狭く、厚生労
働省のガイドラインで望まし
いとされる児童1人当たり、
1・65平方メートル以上の面積を確
保できておらず、また近隣に

青野 光 議員



郡中児童クラブ

ゆったりとした外遊びのでき
る場所も確保できてない状況
である。

市としては、子育て支援事
業を推進していく上で本事業
が非常に重要な取組と認識し
ており、国・県の補助金等の
活用を図りながら、専用施設
の建設を早期着手できるよう
検討していく。専用施設の規
模等については、郡中小学校
の児童数及び児童クラブへの
登録児童数の推移を考慮する
とともに、運営委員会との協
議を進めながら、待機児童が
生じることのないよう、また
子供たちに安全・安心な環境
を提供できる施設を検討して
いきたいと考えている。

長期休暇中の安全・安心な
対策の取組については、特に
夏季休暇中は、小学校等のプ

ール利用もあり、外で活動す
る時間が多くなる。また、終
日のあずかりとなるため、ク
ラブ指導員への負担が大きく
なることから、各児童クラブ
では、臨時指導員の増員によ
り対応しており、安全・安心
な体制は整っているものと認
識している。

使用している建物の2階を拠
点として、南伊予校区実行委
員会を早期に立ち上げ、週に
1、2回程度の開設を予定し
ている。

「啓蒙」という言葉は本来、
知識がなく、物事の道理がわ
かっているから教えるとい
う意味が込められており、相
手を見下した言葉である。現
在では、一般的に同じ意味に
解釈されている「啓発」を使
用するのが適切であり、行政
でも同様に扱うべきだと考え
ている。

子育て支援事業「ハート」
放課後子ども教室について

問

総合的放課後対策としての
プランが創設された。

今後、本市として、各小学
校単位として、どのような計
画で取り組んでいけるのか。
郡中小学校は、空教室は当
分ないとお話であり、児童
クラブと一体的に連携しての
実施になると思うが、どうか。

答

教育委員会
事務局長

まずは伊予小学校をモデル
として、南伊予児童クラブが

差別用語使用について

問

人権教育問題等の中で、「啓
蒙」という言葉について、差
別用語と言われるが、まだま
だ高齢者は使っている。

次に、「障害者」という字
句は、マスコミ等は当然のこ
とく使用している。「障害」
の害をひらがなに改めて、文
面での優しさが出るかどうか。

答

教育委員会
事務局長

次に、「害」という漢字の
印象の悪さから、近年全国で
「害」という漢字をひらがな
表記している県や自治体が、
ごく少数ではあるが出てきて
いる。国においても、「障害」
という言葉の概念そのものの
見直しを検討しており、この
改正に関しては、福祉団体の
中でも意見が分かれている。
また、愛媛県及び愛媛県人
権教育協議会としても、現在
のところ、国による表記の確
立以前に、ひらがなに改める
考えもないことから、本市に
おいても、今後の状況を見守
りながら検討していきたい。

